

田村一行 Ikko TAMURA

日本大学芸術学部卒。98年大駱駝艦入艦、唐赤兎に師事。以降大駱駝艦全作品に出演。02年『雑踏のリベルタン』を発表。同作品により第34回舞踊批評家協会新人賞受賞。08年、文化庁新進芸術家海外留学制度によりフランスへ留学。22年『舞踏 天狗藝術論』を発表。同作品により令和4年度(第73回)芸術選奨舞踊部門文部科学大臣新人賞受賞。地域の文化や風土を題材とした作品の創作にも意欲的に挑み、独自の作品を発表し続けている。また、子供から高齢者まで幅広い対象者への舞踏ワークショップ・アウトリーチを各地で展開し、好評を得ている。11年度から22年度まで(一財)地域創造「公共ホール現代ダンス活性化事業」登録アーティストとして活動。

所属カンパニー 大駱駝艦(だいらくだかん)
ホームページ <http://www.dairakudakan.com>
連絡先(担当) 大駱駝艦・キャメルアーツ株式会社 新船洋子
住所 〒180-0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町2-1-18 コスモ吉祥寺北町B1
電話 0422-21-4982
FAX 0422-21-4983
E-mail temputenshiki@dairakudakan.com
在住地 東京都八王子市
出身地 東京都多摩市



Photo:小林直博(鶴と亀)

活動歴・受賞歴

活動歴

- (2021年)『舞踏 土佐清水風土記 ジョン万流難譚』高知
『舞踏 但馬風土記 赫ノ章 日輪谷遺譚』(市民参加作品) 兵庫
『舞踏 但馬風土記 蒼ノ章 異界の末裔』(市民参加作品) 兵庫
『私家版 浪漫歷程』東京
『舞踏 豊橋妖怪百物語』愛知
- (2022年)『宮古仄聞記』岩手
『舞踏 但馬風土記 幽暗ノ章 水に浮いたひょうたん』(市民参加作品) 兵庫
大駱駝艦・天賦典式公式YouTubeチャンネル
『1258秒星に願いを』(配信)
『泉大津風土記 穴師樹影譚』(市民参加作品) 大阪
大駱駝艦壺中天公演『舞踏 天狗藝術論』東京
『舞踏 酒田風土記 幽玄の論理』(市民参加作品) 山形
- (2023年)『舞踏 但馬風土記 但馬夜話蒐集録』兵庫
- (2024年)『舞踏 但馬風土記 城寄霊湯縁起』(市民参加作品) 兵庫
PKT『いつもと同じ場所 いつもと違う風景』

- (大坂上中学校特別支援学級) 東京
大駱駝艦壺中天公演『舞踏 天狗藝術論』高知
(2025年) 但馬鶴鶴楼『舞踏 但馬風土記 千里の放浪』(市民参加作品) 兵庫

受賞歴

- (2003年) 第34回舞踊批評家協会新人賞
(2023年) 令和4年度(第73回) 芸術選奨舞踊部門文部科学大臣新人賞

ワークショップ歴

- (2021年) 明治大学
北九州芸術劇場(留学生・大学生)
- (2022年) 豊岡芸術文化観光専門職大学
北九州YMCA学院×北九州市立大学FVA×北九州芸術劇場
世田谷パブリックシアターダンス食堂
- (2023年) 豊岡芸術文化観光専門職大学
国立台北芸術大学
天流道場(空手選手)

- 関西大学
全日本児童舞踊協会
文化活動者派遣事業(豊田市)
- (2024年) 北九州芸術劇場×北九州YMCA学院×小倉中央市民センター
豊岡芸術文化観光専門職大学
国立台北芸術大学
専修大学
関西大学
ステージラボ八戸セッション 自主事業コースコーディネーター
豊岡市民プラザ
文化活動者派遣事業(豊田市)
とよた演劇ファクトリー
- (2025年) 子ども支援センター(豊岡市)
豊岡芸術文化観光専門職大学
関西大学
波止場のワークショップ2025(横浜)

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

難しいことを考えずに力を抜いて空っぽになる。そして“自分で動くのではなく動かされる”。上手・下手という価値観から離れ、感情や周囲のものに身を委ねると、様々な身振りや手振り・動きと出会うことができます。

①学校でのアウトリーチ

頭も体ものびのびしてくる基礎的な体操から始め、様々な型や振りを覚えたり作ったりします。驚き方や笑い方が人それぞれであるように、何かをしようとしなくても既に自分だけの表現や踊りは存在しているのです。表現とはとても自由で身近なものなのだとすることを体験します。

この事業で可能な公演スタイル

レポートリー作品

①『舞踏風土記シリーズ(タイトル未定)』他

上演時間・会場など諸条件を考慮・ご相談しながら提案させていただきます。その場所ならではの様々な財産をリサーチし題材といたします。

▶上演時間: 60~75分 ▶出演者数: 3名(田村一行+共演者) ▶同行スタッフ: 演出助手・舞台監督のいずれか ▶現地スタッフ: 舞台監督・音響・照明各1名 ▶上演環境 (1) 会場の広さ・形状: 特に

②教員へのアウトリーチ

「表現しないことが表現である」と考え、「がんばらない」「うまくやろうとしない」ということを大切に、自由な発想で身体と向き合います。人間の数だけ存在する踊り、それぞれの個性と出会う方法を探ります。

③福祉施設でのアウトリーチ

心も身体もリラックスした状態を作り、自分を取り巻く世界を感じながら身体を優しく動かしていくことを体験します。

※その他の施設・場所でのアウトリーチにも対応いたします。

希望なし(2)床: リノリウム希望 ▶その他: 出演者は白塗りをします。楽屋等を養生します。

市民参加作品

①『舞踏風土記シリーズ(タイトル未定)』他

その場所をコンセプトに創作するオリジナル作品です。現地ワークショップ生や様々な団体との創作が可能です。人間に大きな影響を与える土地の風土や文化をモチーフに、参加者特有の身振り・手振りを

公募ワークショップ

踊りとはどのような時にどのように生まれているのか。そしてどのようなモノにどのように動かされるか。普段と違う発想で、自分や周囲の世界を見つめてみます。思考停止・身振りの採集・鎗態・宙体・各種歩行・緊張と脱力…。大駱駝艦のメソッドは様々なジャンルの芸術・文化・生活に通底し、境界を越えて新しい価値観を見出すきっかけにすることができます。無意識の世界に触れ踊りになる以前の行為と接することは、無限なる表現世界へと続く新たな一歩となるでしょう。

※様々なワークショップ形態にも対応いたします。

採集し作品を構築します。

▶上演時間: 60~80分 ▶出演者数: 3名(田村一行+アシスタント) ▶参加人数・回数: 10名程度・5回程度(その他に通し稽古・ゲネプロ等にも参加) ▶同行スタッフ: 演出助手・舞台監督のいずれか ▶現地スタッフ: 舞台監督・音響・照明各1名 ▶上演環境: (1) 会場の広さ・形状: 特に希望なし(2) 床: リノリウム希望 ▶その他: 出演者は白塗りをします。楽屋等を養生します。